

2021.09

TOKUSHIMA PREFECTURAL INTERNATIONAL EXCHANGE ASSOCIATION

発行／公益財団法人徳島県国際交流協会

## 2021年度外国人による徳島県日本語弁論大会



7月18日（日）、あわぎんホール（徳島県郷土文化会館）にて「2021年度外国人による日本語弁論大会」を、徳島県及び（公財）徳島県国際交流協会の主催により開催しました。

30名の応募者の中から、書類審査を突破された9か国14名の方が、日本での生活や、本国と日本の違いなど様々な切り口から、それぞれの思いを熱く発表してくれました。本大会は昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大予防として、関係者のみでの開催になりましたが、彼らの熱い思いで大変有意義な大会となりました。

本大会の報告は、すでに当協会のホームページに掲載しておりますと同時に、後日、配信いたしますのでぜひご覧ください。（配信日時が決まりましたら、TOPIAホームページにてお知らせいたします。）

今大会、最優秀賞に輝いたのは、鳴門教育大学留学生で中華人民共和国出身のリ ケンリンさん、徳島県議会国際交流議員連盟会長賞に輝いたのは、阿南工業高等専門学校留学生でインドネシア共和国出身のアルカandel・イワマンさんです。



## 日本での「ささやかな」幸せ

リ ケンリン（中華人民共和国）

皆さんこんにちは。私はリ ケンリンと申します。中国の河南省の出身で、2018年に日本に来ました。徳島に来る前は、一年半、東京に住んでいました。小さい頃に日本のアニメを見て、中学生、高校生になった時、日本のドラマとバラエティー番組が好きになりました。そして、やっと、ずっと憧れていた日本に来ました。

日本に来る前は、インターネットで日本に関する情報をたくさん調べたのですが、そこでこんな投稿を読みました。「日本人はすごく真面目で、ちょっと冷たいですよ。だから日本人の友達作りは作りにくいです。また、日本社会には守らなければならないマナーがたくさんあるんですよ。」その時は、ずっと憧れていた日本に少し不安を抱きました。

日本に来て最初のころは色々な困難に出会いましたが、日本人の皆さんの助けを借りて、その困難を一つずつを乗り越えていきました。たとえば、私は財布を落としたことがあるのですが、そのときは日本人の方が財布を拾って、私を追いかけて渡してくれました。また、ある朝、試験を受けるため、バスに乗らなければならなかったのですが、私はバス停がどこにあるのか全然わからず困っていました。すると、電車に乗ろうとしていた日本人の方が、私の行きたい場所を聞いてバス停まで連れて行ってくださいました。アルバイトでは、店長さんも店員さんもみんな優しく、日本社会の基本的なビジネスマナー、たとえば、仕事が始まる前にはお互いに「おはようございます」と言い合うこと、また、誰かに呼ばれたらすぐに「はい」と返事することなどを教えてくれました。また、休みの時は、みんなと一緒に食事をしたり、ショッピングをしたり、花見に行ったりしました。

日本にいる時間と、日本人と付き合う時間が長くなるにつれて、日本と中国の異なるところもどんどん感じられるようになりました。その中で私が一番強く感じるのは、日本人は、日常生活では、他人を邪魔しないように静かに自分のことをやっている、ということです。そういうちょっと距離感がある社会環境は、静かな環境が好きで私にとって、ありがたいことです。

日本では、どこに行っても「こんにちは」「ありがとう」「すみません」などの挨拶言葉をよく聞きます。食事をしたあとの「ごちそう



さまでした」、仕事が終わったあとの「お疲れ様です」など、外から見ると、面倒で細かなマナーと思う人がいるかもしれませんが、こういういつも相手の気持ちに配慮することは、私に、毎日ささやかな幸せを与えてくれています。

徳島に来たあと、大学の先生方からはいつも手厚い配慮と援助をいただいています。一緒に寮に住んでいる日本人の友達は、私によくお土産を持ってきてくれます。神戸のクッキー、紅茶、お菓子、また家族が作ったケーキなど、たくさんもらいました。また、こんなこともありました。家から近い業務スーパーで買い物をしていたときのことで。私は、柿を買いたかったのですが、どのような柿がいいか分からず迷っていました。その時、隣にいたおばあちゃんが、わざわざ私のためにいい柿を選んでくれたのです。

実は、日本に来る前は、興奮と期待より、恐怖のほうがもっと大きかったです。でも、今では、恐怖は全然残っておらず、日本社会からもらう温かさを心ゆくまで味わっています。毎回、日本社会の温かさに出会う時、頭にこういう歌詞が浮かんできます。「君と出会えた幸せ祈るように・・・（風になる）」

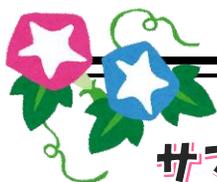
これで私のスピーチは終わりです。ご清聴ありがとうございました。

弁論大会を、後日、当協会YouTubeチャンネルで配信いたします。

徳島県国際交流協会 YouTube



1:35 / 3:40



## サマースクール「夏休み子ども日本語教室」



7月21日から31日までの内の8日間、徳島県事業として徳島県国際交流協会にて「夏休み子ども日本語教室」を開催しました。今年度も昨年度に引き続き、コロナ禍での開催ではありませんでしたが、中国、ベトナム、フィリピン、タイ、モンゴル、インドネシア、エジプトにルーツを持つ7か国19名の子どもたちが参加しました。

教室では、子どもたちや日本語支援をするボランティアの皆さんにとって、新型コロナウイルス感染症の予防に気をつけながらという状況ではありませんでしたが、子どもたちそれぞれが、前向きな姿勢で夏休みの宿題や、日本語学習、各自の夢日記などに一生懸命に取り組んでくれました。

また皆が同じ空間で勉強することで、「自分と同じようにがんばっている仲間がいる」という思いを肌で感じてくれたのではないかと思います。今回の「夏休み子ども日本語教室」が、これからの参加者それぞれの日常生活や学校生活の中で、前向きに頑張っていく原動力となってくれと確信しています。

最後になりましたが、不安な日々の中、この事業を実施していただきましたJTMとくしま日本語ネットワークの皆様の献身的なご活動に心より感謝申し上げます。



## 令和3年度 後期日本語教室

TOPIAでは、徳島県内にお住まいの外国人の方を対象に日本語教室を開催しています。

開始日：9月28日(火)～

※レベルにより曜日が異なりますので、詳細は当協会のホームページにてご確認ください。

時 間：10:30～12:00

場 所：TOPIA会議室

受講料：無料

使用テキスト：「みんなの日本語Ⅰ」または、「みんなの日本語Ⅱ」(第2版)(2,750円/1冊 CD付き)

※台風・大雨・大雪の状況により、急にクラスが休講になることがあります。ご了承ください。

★阿南市国際交流協会(阿南市)、吉野川市国際交流協会(吉野川市)、阿波国際交流協会(阿波市)、美馬の里(美馬市)、美波多文化共生ネットワーク「ハーモニー」(美波町)、NPO法人あつたかよう(海陽町)、藍住町国際交流協会(藍住町)、多文化共生を考える会「ともに」(つるぎ町)でも日本語教室を開催しています。 ※新型コロナ感染拡大の状況により、スケジュールや託児サービスが変更されることがあります。

あ

い

う



## 徳島県外国人相談支援ネットワーク会議

当協会では、県からの委託により「徳島県外国人総合相談窓口」を設置し、関係機関と連携しながら外国人からの様々な相談に応じており、外国人のための日本語教室や南海トラフ地震を想定した大規模災害時外国人支援訓練なども実施しています。

こうした外国人に対するきめ細かな支援や外国人と日本人の共生を進めていく上においては、国・県・市町村の各機関や外国人を支援する関係団体がネットワークを形成し、緊密に連携することが欠かせません。

このため当協会では、在県外国人の生活及び大規模災害支援に関わる関係機関・団体相互の連携の強化を目的として、平成13年度に徳島県在住外国人相談支援ネットワーク会議を設立しました。設立以降、関係する機関・団体のネットワーク会議への加入を促進した結果、構成機関は平成13年度発足時の25機関・団体から、現在は県内全市町村を含む61機関・団体へと拡大しており、連携の強化が図られています。

今年度第1回の会議は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、Web会議システムにより7月29日（木）に開催しました。会議では、「（1）県内在住外国人の動向、（2）外国人対象所管事務の現状と課題、（3）外国人総合相談窓口の運営状況、（4）大規模災害時外国人支援訓練の実施、（5）構成員からの提案事業」について協議し、情報の共有と連携強化に取り組みました。

今後も、関係機関等とのネットワークを活用して、外国人の皆さんの多様なニーズに応えながら、多文化共生社会の実現に向けて取り組んで参ります。



徳島県外国人相談支援ネットワーク会議の様子

### 徳島県在留外国人内訳



国籍・地域別	
ベトナム	1,967
中国	1,846
フィリピン	763
インドネシア	389
韓国・朝鮮	339
カンボジア	172
米国	159
ミャンマー	150
タイ	98
ネパール	81
インド	55
台湾	47
その他	561
総数	6,627

在留資格別	
技能実習	2,773
永住者	1,313
特定活動	508
留学	448
日本人の配偶者等	302
家族滞在	295
技術 人文知識 国際業務	236
特別永住者	184
定住者	134
その他	434
総数	6,627
令和2年12月末 単位：人	
出典：法務省在留外国人統計	

## 新型コロナワクチン接種証明書

「新型コロナワクチン接種証明書（ワクチンパスポート）」とは、新型コロナワクチンを接種された事実を日本語及び英語で証明するもので、市町村において当面は**海外への渡航を予定されている方**のみ発行することとなっております。

市町村ごとに受付窓口がありますので、接種証明書が必要な方は市町村窓口までお問い合わせください。



市町村窓口一覧  
QRコード

## 防災センター・スタディ・ツアー



徳島県未来創生文化部  
ダイバーシティ推進課  
主事 佐野 史歩

最近、地震や大雨などのニュースを見るたびに“日本のどこにいても、災害に巻き込まれない場所はないな”とよく思います。2011年に起きた東日本大震災や2016年に起きた熊本地震の余震は今でも続いています。さらに、7月初旬から中旬にかけて、ここ数年日本は毎年のように大雨による土地の浸水や河川の氾濫、土砂災害などの被害にあっています。このような災害は、決して他人事ではなく、徳島でも十分起こりうるものです。なぜなら、日本の太平洋沿いで南海トラフ地震という大きな地震が起きた場合、徳島は甚大な被害が出ると推測されており、この地震は30年以内に70～80%の確率で起こると言われているからです。

このように、いつ起こってもおかしくない地震や津波などの災害について、それがどのようなものなのか、実際にそのような災害が発生したとき私たちが自分の命を守るためにどのような行動を取ればいいのか、体験しながら学ぶことができるのが「防災センター・スタディ・ツアー」というイベントです。私は昨年9月、県とTOPIAで開催する防災スタディツアーに参加し、県内在住外国人の方々とともにいくつかの災害を疑似体験しました。特に印象に残っているのは、地震の体験です。キッチンを模した、揺れを体感するための特別な機械に乗り、手す

りにつかまって地震を体験しました。手すりにつかまっていなくて立ってられないような激しい揺れに自分の頭をクッションで守りながら耐え、揺れがおさまるとすぐにコンロのガスの元栓を閉め、部屋のドアを開けて避難する、というのが地震体験の一連の流れです。私がこの地震体験で学んだことは、大きな地震が起きたときにどのように安全を確保するか、ということと、もう1点あります。それは、部屋の家具を固定することの重要性です。ツアーでは、機械の中にあつた机や棚は揺れに耐えられるようにしっかりと固定されているため、私は安全に揺れを体験できましたが、実際の災害はそうではありません。私の部屋にある本棚やクローゼットは、耐震のための固定がされていないので、もし地震が起きてそれらが倒れたら、私は安全でいられるかどうか分かりません。私はこのツアーの後で、地震が起きたときに部屋の家具が倒れないように固定しました。皆さんの部屋の家具は、地震の対策ができていますか？

防災スタディツアーでは、地震体験の他にも、消火体験、煙体験、暴風体験など、将来経験するかも知れない災害のいくつかを体験し、また災害に対する知識を得ることができます。今年も9月にこの防災スタディツアーが開催される予定ですので、ぜひ皆さん参加してみませんか。

## 徳島県立防災センター・スタディ・ツアー開催



日時:9月27日(日)13:00～16:00 締切日:9月17日(木)  
 集合場所:徳島駅前 お申し込み・お問い合わせ  
 開催場所:徳島県立防災センター 公益財団法人徳島県国際交流協会(担当:木村)  
 参加対象者:徳島県在住外国人 TEL(088)656-3303 FAX(088)656-0616  
 定員:20名(先着順) E-mail coordinator1@topia.ne.jp  
 参加費:無料  
 参加申込:名前、住所、国籍、電話番号、メールアドレス、  
 職業をお書きの上、メール、もしくはFAXでお申し込みください。



消火体験の様子

※今後の新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、中止になる場合があります。

## ～県内国際交流団体活動紹介～

### 地域で広げる国際交流の輪



吉野川市国際交流協会  
 会長 萩森 健治



吉野川市国際交流協会は、前身である鴨島町国際交流協会として1992年8月に設立され、町村合併による改称を経て来年創立30周年を迎えます。(URL : <https://via2020.net/>)

吉野川市に在住する外国人は415人(2021年1月末)で人口の1%です。そのうち約85%は、ベトナム、中国、フィリピン、インドネシア、ミャンマーなどからの技能実習生です。

当協会は、日本語教室、もちつき大会、お花見、阿波踊り、バスツアー、ホームステイなどの外国人との交流活動を行っています。また、地元の小・中学校に外国人講師を招き、母国の地理、衣装、食べ物、子どもの遊びなどを紹介する活動や、国際理解講座など市民の国際化を支援する活動も実施しています。

日本語教室は協会設立時に開校して以来29年。現在は鴨島町と山川町の2教室で授業を行っており、年間延べ70～80人の受講生が登録し毎週日曜日に楽しく日本語を勉強しています。日本語教室は外国人にとっての居場所的な存在になっていると思います。最近では日本語能力試験のN4～N2に挑戦したり徳島県日本語弁論大会に出場したりする受講生もいて、ボランティア講師はその指導で大変ですが、うれしくもあります。今年初めて当協会では日本語スピーチコン

テストを開催し4名の受講生が発表し、そのうちの2名は徳島県・徳島県国際交流協会主催の日本語弁論大会に出場しました。

交流活動の楽しいイベントを紹介します。春は、梅、桜、シバザクラ、フジなどの「お花見」。6月は「書道ワークショップ」。2020年7月には「浴衣や着物の着付け体験」を初開催し、外国人実習生は初めての浴衣体験に大はしゃぎ。8月は恒例の吉野川市阿波おどり大会に「国際交流連」を編成して参加してきましたが、2020年、2021年は残念ながら中止となりました。秋の11月は人気の「バスツアー」。これまで、奈良、京都、大阪、神戸、姫路、岡山などに大型バスで行きました。2020年は県外に行けず、鳴門の渦潮、霊山寺などを観光。年末に「クリスマス会」、お正月に「もちつき大会」、2月に「国際交流クッキング」または「多文化共生交流会」を開催する予定です。実施できたら良いなと思っています。

コロナ禍の中で在住外国人は、情報収集や医療、仕事の面で我々日本人以上に不安と孤立感を感じています。このような時に在住外国人に対してできる限り支援することが協会の役目だと信じ、今後も行政や徳島県国際交流協会などの団体、外国人を雇用する企業などと連携しながら交流活動を進めていきます。



日本語教室の授業



阿波踊り・国際交流連

もちつき大会

## JICA徳島デスクのページ

JICA（独立行政法人 国際協力機構）は、日本のODA（政府開発援助）の実施機関として、開発途上国への国際協力を行っています。「信頼で世界をつなぐ(Leading the world with trust)」というビジョンを掲げ、多様な援助手法を組み合わせ、最適な解決策を提供することで、開発途上国が抱える課題解決を支援していきます。

### 2021年度 秋冬 徳島大学・JICA四国社会連携特別講座

今年度は、オンラインで全5回、下記日程の18:30～20:00まで実施します。  
講座題目「国際協力の経験を地域に還元すること」

- 第1回：11/5(金)（講師：JICA四国 米林 徳人）  
「国内外におけるJICAの事業展開と徳島県における方向性」
- 第2回：11/12(金)（講師：株式会社さきとうむら 中川 朋子）  
「山間の袖子の村からつながる世界」
- 第3回：11/19(金)（講師：元徳島県警察官 澤口 光資朗）  
「日本とネパールにおける街角の国際交流 ～両国における交通安全の指導経験から～」
- 第4回：12/3(金)（講師：公益財団法人徳島県国際交流協会 野水 祥子）  
「徳島県在住外国人の現状と、多文化共生をめざす社会の中で一人ひとりにできること～TOPIAでの経験から～」
- 第5回：12/10(金)（講師：鳴門教育大学研究員 長田 有加里）  
「“みんな”でつくるこれからの徳島～アフリカと徳島、地域のつながりから考える～」

申し込みは徳島大学人と地域共創センターHPより、**9月1日(水)～9月17日(金)**の間をお願いします。<https://www.cue.tokushima-u.ac.jp/course/>

### JICA国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト2021

今年度は、**6月7日(月)**より、募集を開始しています。  
中学生・高校生の皆さんからの多数のご応募、心からお待ちしております。

【募集テーマ】  
「私たちと地球の新しい未来」

【募集期間】  
**2021年6月7日(月)～9月11日(土)まで**

詳細はこちらをご覧ください。  
<https://www.jica.go.jp/hiroba/program/apply/essay/index.html>



■**JICAの支援メニュー紹介**：JICAでは、日本の地域が有する技術や経験を開発途上国の発展に活用し、国際協力を通じて地域の活性化や国際化にも貢献していきます。

#### ◆JICA海外協力隊事業

開発途上国からの要請(ニーズ)に基づき、それに見合った技術・知識・経験を持ち、「開発途上国の人々のために生かしたい」と望む方を募集し、選考・訓練を経て派遣します。帰国後もグローバル人材としての活躍が期待されています。

○募集期間は年2回(春・秋)を予定しています。

詳細につきましては、JICA海外協力隊ホームページをご覧ください。

<https://www.jica.go.jp/volunteer/index.html>

#### ◆草の根技術協力事業

技術協力を通じて途上国の方々の生活改善を支援しています。

【事業提案の応募は、以下の3コース】

- 草の根協力支援型(3年以内、1,000万円以内)
- 草の根パートナー型(5年以内、1億円以内)
- 地域活性化型(3年以内、6,000万円以内)

#### ◆開発教育支援事業

地域や学校の皆さんと世界を学びます。

- ・教員向けJICA地球ひろば「先生のお役立ちサイト」学習指導案・写真・映像・パンフレットデータ・教材
  - ・教師海外研修
  - ・教員のJICA海外協力隊への現職参加
  - ・協力隊経験者による出前講座
- ※詳細は、JICA四国HPをご覧ください。

#### ◆研修員受入事業

開発途上国からの研修員が四国の知識、経験を学んでいます。大学・地方自治体・民間団体などの協力を得て、四国の特性を活かした四国ならではの研修を実施しています。

#### ◆中小企業・SDGsビジネス支援事業

四国の技術を世界へ！四国の民間企業と途上国を繋ぎます。

- 基礎調査(850万円上限)
- 案件化調査(3,000万円、機材輸送が必要な場合は5,000万円上限)
- 普及・実証・ビジネス化事業(1億円、大規模/高度な製品等を実証する場合は1.5億円を上限)
- 「JICA海外協力隊(民間連携)」を通じたグローバル人材の育成

JICA徳島デスクでは、いつでも皆さまからのお問い合わせをお待ちしております。

デスク：徳島県国際交流協会(TOPIA)内、徳島県国際協力推進員(JICA徳島デスク)：森

TEL：088-656-3303 Email：jicadpd-desk-tokushimaken@jica.go.jp

JICA四国HP：<https://www.jica.go.jp/shikoku/index.html>

派遣国の政治・治安情勢や感染症を含む自然災害の状況により、事業実施を見合わせる場合があります。

## 「とくしま外国人支援ボランティア会員」

\*募 集 中\*

徳島には約80か国、約6,600人の外国人の方が住んでおり、2019年4月からの「外国人材の受け入れ拡大」などにより、今後ますますその数は増えていくことが予想されます。彼らが、この徳島で国籍などに関係なく生き生きと生活することができるよう、ボランティアになって支援していただきながら一緒に国際理解や多文化共生を推進していきませんか？

詳しくはとくしま国際戦略センターホームページの「ボランティア募集」をご覧ください。

URL <https://volunteer.topia.ne.jp/recruit/page01.html>

### TOPIA 賛助会員募集中

当協会では、当協会の趣旨と活動内容にご賛同いただける賛助会員を募集しています。賛助会員は協会の情報を優先して受けることができ、賛助団体は会議室の予約を3か月前から申し込むことができます。詳細は当協会まで。資料をお送り致します。

年会費	個人会員	一口	3,000円/年度
	団体会員	一口	10,000円/年度

### 国際理解教育を応援します

#### 国際理解支援講師派遣

人とふれあい 人とつながり

#### 多文化理解&多文化共生！

徳島県の国際化の進展に伴い、多文化共生に向けた県民の意識醸成や国際理解教育の推進を目的として当協会では学校や市町村の機関が行う国際交流活動などに講師（県内在住外国人等）を派遣します。リモート講義についても御相談ください。

#### 国際理解支援講師募集中

～母国と日本の交流の架け橋となりませんか～

県内の学校や市町村の機関が行う国際交流のイベント等で、国際理解支援講師として日本語で母国の文化紹介などをしてくださる県内在住外国人の方を募集しています。



## 徳島県外国人総合相談窓口

徳島県で生活する外国人のみなさんが、暮らしやすい地域社会を目指し、外国人総合相談窓口を開設しています。当協会では英語、中国語、そしてベトナム語のほか、たくさんの言語で対応ができますので、仕事、医療、子育てなど生活でお困りのことがございましたら、当協会に来所いただくか、お電話いただければ対応させていただきます。

**開所時間**：10：00～18：00（年末年始を除く）

**場 所**：とくしま国際戦略センター

（公益財団法人徳島県国際交流協会）

### 多言語対応：

(1) 多言語(英語・中国語・ベトナム語)相談員の配置

(2) 電話通訳システムの導入

（通訳事業者、行政機関も交えて4者間で相談できる）

【対応言語】18言語

- ①英語 ②中国語 ③韓国語 ④ベトナム語
- ⑤インドネシア語 ⑥タイ語 ⑦マレー語
- ⑧タガログ語 ⑨ネパール語 ⑩ミャンマー語
- ⑪クメール語 ⑫モンゴル語 ⑬ポルトガル語
- ⑭スペイン語 ⑮フランス語 ⑯ドイツ語
- ⑰イタリア語 ⑱ロシア語

(3) 映像通訳システムの導入

（相談者・相談員と通訳者との対面相談に対応）

【対応言語】8言語

- ①英語 ②中国語 ③韓国語 ④ベトナム語
- ⑤タイ語 ⑥ポルトガル語 ⑦スペイン語
- ⑧ロシア語

(4) 対面式通訳機(ポケットーク)の導入(74か国語)

(5) 多言語翻訳アプリ(ボイストラ)の導入

**相談専用TEL**：088-656-3312、088-656-3313

**相 談 料**：無料

（ただし、電話代は自己負担となります）

問い合わせ：公益財団法人徳島県国際交流協会  
〒770-0831

徳島市寺島本町西1-61

クレメントプラザ6F

開所時間：月曜日～日曜日 10：00～18：00

TEL: 088-656-3303 FAX: 088-652-0616

URL: <http://www.topia.ne.jp>